



新年度スタート！

from 豊山小学校

今年度五十八名の新一年生を迎え、平成二十八年度がスタートしました。今回は四月の様子を中心に元気な豊山健児の様子をお伝えしたいと思います。

四月五日、翌日の入学式を控え新五年の子どもたちが登校し、入学式の準備をしました。入学してくる新一年生が気持ちよく過ごせるように、会場となる講堂や一年生の教室はもちろん、昇降口や廊下、階段など隅々まで校内をきれいにすることができました。

四月六日、入学式。新一年生全員を迎え、ご来賓に鈴木幸育町長をお招きし、晴天の下、行われました。豊山町のキャラクター「地空人くん」が特別ゲストとして登場し、会場は大盛り上がり。地空人くんから、「友達となかよくしよう」「元気よくあいさつしよう」「車に気をつけよう」の三つのメッセージがありました。

四月七日、始業式がありました。朝は新二年生から新六年生が自分の新しいクラスを楽しみに登校しました。新クラス名簿から自分の名前を探し、友達と同じクラスで喜んでいる子どももたくさん見られました。校長先生から「校訓『強く、正しく、明るく』を意識して、挨拶と返事を元気よくしていきましょう」とのお話がありました。式の最後に歌われた『豊山健児の歌』は全校児童が一つとなつて

講堂中に元気いっばいの歌声を響かせました。

四月八日、二時間目に教室からの避難経路の確認をねらいとした避難訓練が行われました。『お・か・し・も』（おさない・かけない・しゃべらない・もどらない）を合言葉に迅速に安全に避難することができました。

四月二十一日、授業参観とPTA総会が行われました。授業参観では、今年度初めてということもあり、どのクラスでも子どもたちは集中して授業に参加していました。またPTA総会前に行われた全校合唱では『たんぽぽ』を大きな声で歌うことができました。

豊山小学校では、日々の教育活動の様子をホームページでお知らせしています。お時間のあるときに、元気な豊山健児の姿をぜひご覧ください。



史料から ひもとく 豊山

第③回

今回は、民具資料から「押し寿司器」、文書資料から「戸籍人数初改帳」を紹介します。

▽押し寿司器

お寿司
と言えば、
今では握
り寿司が
中心です
が、江戸
時代に江
戸前の握り寿司が登場するまでは、押し寿司（箱寿司）が普及していました。



押し寿司器は押し寿司を作るために使われ、箱、上蓋、枠、横木、つめ(楔)から成り立っています。

使い方は、箱に寿司飯を入れ、その上に具を載せて上蓋をして、枠に横木を渡して、強く押さええます。同時に幾箱もつけられるように、枠は五〜十箱分くらい長く作られています。

具としては、日常容易に手に入るレンコンや角麩、こんにやくなどの組み合わせのほかに、鱈、泥鰌、焼きばえ（小鮓など保存用に焼いた川魚）を中

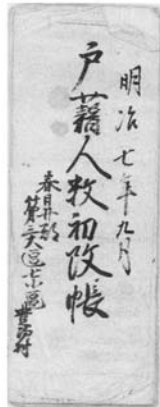
心にしたものが本町周辺で広く普及していました。

『書窓 平成二十四年十月号』より

▽戸籍人数初改帳

明治七年時点での土地に関する文書です。中は、豊場村が東西二冊に区分されています。記載事項は、人名（西村百五十二人、東村百五十九人）と、「田・畑・屋敷・宅地と判読不明項目」の五項目の面積とその地価です。この記載が、それぞれの人の所有を意味するのか、使用状況を示すのかどうかは、記載がないため判明しません。

明治七年といえは、まだ新政府の流動期であります。戸籍については、初めての全国統一戸籍（壬申戸籍・明治五年）が作られたばかりです。土地に関しては、明治六年に地租改正が行わ



れ、地価が決定されたところですが、この資料は、明治新政府の歩みを示す意味で貴重なものです。

『書窓 平成二十二年五月号』より